

(Ⅳ－８) 日本三大峠の克服・雁坂トンネルの歴史的意義

建設省甲府工事事務所長 ○ 正会員 竹 林 征 三
建設省甲府工事事務所調査第2課 係長 横 森 常 道
建設省甲府工事事務所調査第2課 主任 塩 見 芳 文

〔1〕はじめに

一般国道140号(起点甲府市から終点熊谷市に至る約160Km)のうち山梨県東山梨郡三富村から埼玉県秩父郡大滝村に至る雁坂峠(2082m)をはさんでの約23Kmは交通不能区間で、俗に開かずの国道といわれている。未開通区間解消を図るため雁坂トンネル着工に向けて甲府側と秩父側から山梨県、埼玉県両県によりアプローチの道路工事が現在鋭意進められている。雁坂トンネルは山梨側からのアプローチが完成する昭和63年より直轄代行として建設省において着工することとなる。この時期に雁坂トンネルを貫通させることの歴史的意義について振り返ってみることにしたい。

〔2〕秩父往還と雁坂峠

(1) 甲斐から武蔵・上野等への北関東への最短経路

甲斐府中から関八州へ通ずる街道は近世において三筋あった。その1つは江戸時代、五街道の一つとして整備された官道甲州街道(現国道20号)である。甲州街道の整備される以前は武田信玄が整備した甲斐の九筋のうち萩原口(大菩薩峠越)と雁坂口の2筋である。萩原口は甲州街道が整備された後は甲州街道の間道即ち裏街道、青梅街道としての役割りを果たした。一方雁坂口は中仙道と甲州街道の丁度真中を結ぶ所に位置し、甲州から北関東への最短経路の役割りを果たした。

(2) 秩父街道の名称

同一街道でも地域により目指す方向によりあるいは時代により様々な呼び名で呼ばれた。

甲斐の人々………雁坂口、秩父往還、秩父街道、秩父道、雁坂路、八幡道 etc

秩父の人々………甲州道、信玄道、etc

江戸の人々………ちちぶ道は江戸から秩父観音霊場巡拝の道

〔3〕雁坂峠の語源

(説-1) 秩父風土記によれば「日本武尊が草木簾さを刈り分け通りたまえる刈坂なり」と記されていることよりカリサカと名付けられたという。

(説-2) この峠から罪人を驅逐したことより「驅、カリ」と呼称されたという。

(説-3) 高山の境(タワ)みで峠が低くなっているのが雁がそこから山越えたことより雁坂と名付けられたという。

〔4〕雁坂峠の歴史的な六つの意義

(1) 日本で一番古い歴史を持つ峠

イ. 山の頂上より縄文中期の遺物が出土する。

甲斐国志に「支村天科ト云処ヨリ登ル、上下八里ノ間人戸ナシ。險隘ニシテ牛馬通ゼス。嶺頭ノ山中ニテ古銭ヲ掘得ル事アリ。昔時往来ノ人。山雲ニ手向ケセン所ト云。」と記されている。山の頂上より中世以降の坂越に峠の神に捧納したと考えられる古銭類が出土する他、縄文中期の遺物が出土しました。

ロ. 日本武尊が東征の時通られた峠路

日本書紀景行記に日本武尊が蝦夷の地平定のために利用された道と記されている。

(2) 武田信玄公により整備された軍用道路

武田信玄公が他国侵略のため整備したと伝えられる甲斐九筋若彦路、中道、河内路、雁坂口、萩原口、鎌倉海道、穂坂路、大門嶺口、諏訪口)の一つである。

(3) 罪人放逐の道、武田家武士残党逃避行の道・土木技術伝承の道

甲斐国志に「又、鬼門関トモ呼ブハ州ノ丑寅二当ル故ナリ、唐山ノ書ニモ鬼門関ノ歌アリ。若度鬼門関、十去九不還」と記されているように雁坂峠は甲斐府中から丑寅の鬼門の方向にあることと非常に険しい峠道であったので、罪人を国外へ追放する時に用いられた道であると共に、武田家が織田信長に亡ぼされた時、武田武士残党が逃避行として利用した道でもある。その後、武田武士が関八州で甲州流土木技術を広めたことより結果的には土木技術伝承の道となった。

(4) 信仰の道

甲州の人々による①山岳信仰三峰権現（妙法、白岩、雲取、）山の三峰講の道、②秩父三十四ヶ所観音霊場礼所巡礼の道、武州・上州の人々による③甲斐府中善光寺詣の道④日蓮宗身延山久遠寺詣の道⑤富士山信仰富士講の道。⑥伊勢講の道

(5) シルクロード

江戸時代から大正時代まで秩父大滝村の人が蕎麦を塩山の蕎麦引場へ運ぶ道

(6) 雁の群がシベリヤから南国への渡り道（雁門の道）

イ．凡河内躬恒が新拾遺集のなかで「秋風に山飛び越えてくる雁の羽むけにきゆる峰の白雪」と詠んだ峠

ロ．奥秩父山塊の雁坂峠付近には雁の名が付く山や峠が多数存在することからも雁の群の山越の道であることが伺える。（例、雁坂嶺、雁峠、雁道場、雁ヶ腹摺山、牛奥雁ヶ腹摺山、笹子雁ヶ腹摺山、雁道、雁丸尾アミハリ e t c .）

[5] 日本三大峠の克服

(1) 雁坂峠

① 標高2082m日本第13位、深田久弥「峠」編による ㊦ 位置、秩父往還、甲斐と武蔵の国境、奥秩父山塊、雁坂嶺2289mと 水晶山2158mの間の鞍部 ㊧ 歴史的意義、日本武蔵東征の道、信玄の甲斐の九筋、信仰の道 e t c . ㊨ トンネル開かずの国道140号県境6.5km（久渡沢～豆焼沢）直轄代行区間として昭和59年10月ルート承認、昭和63年より建設省甲府工事により山梨県側から着工予定、一般国道トンネルとしては日本一、開かれたトンネル。

(2) 針の木峠

① 標高2541m日本第2位、深田久弥「峠」編による ㊦ 位置、立山黒部アルペンルート、信濃と越中の国境、北アルプス後立山連峰、連華岳2799mと針の木岳2821mの間の鞍部 ㊧ 歴史的意義、越中富山の城主佐々重成の敵冬期アルプス越の道 e t c . ㊨ トンネル、関西電力KKが黒四ダム工事用トンネル（大町扇沢より黒四ダム間約5.4kmを昭和38年5月22日開通、現在、昭和39年8月より立山黒部アルペンルートとしてトロリーバス観光専用トンネル、閉ざされたトンネル。

(3) 清水峠

① 標高1448m ㊦ 位置清水峠越往還、越後と上野の国境、谷川岳1963mと朝日岳1945mの間の鞍部 ㊧ 歴史的意義、上杉謙信上州攻略の軍道、十五里謙信尾根 e t c . ㊨ トンネル、日本国有鉄道山越線、上り線、清水トンネル昭和5年完成延長9702m新幹線を除く国鉄トンネル第5位下り線新清水トンネル（昭和42年完成延長13500m、新幹線を除く国鉄トンネル第2位閉、ざされたトンネル。

[6] おわりに

雁坂トンネルを開通することの歴史的な意義は大変大きい。建設省甲府工事事務所としては、両県民の大きな期待に間違いなく答えるべく、技術の研鑽に励んで参りたいと存じます。皆様方の御指導、ご支援を切にお願い申し上げます。